



エアコン設備などの点検が義務付けられました



今年から法令が改訂され、代替フロンガスを使用した製品は、簡易的な点検をすることになりました。6月30日初めて実施しましたが、異常ありませんでした。法令では定期的(四半期一度)に実施するよう指示されていますので、次回は9月末に実施します。エアコンの触媒として使用されている物質は、温暖化効果ガスの一つである他、地球上空にあるオゾン層を破壊し、皮膚ガンなどを誘発させるといわれ、特別な管理をしています。従来は、製品を破壊するときに漏れると考えられていましたが、日常の管理が悪いと、漏れ出すこともあり、エアコン、室外機などに異常を発見したときは、報告をお願いします。

「水」も大切な資源です



水戸の近くの涸沼がラムサール条約に登録され、その周辺の保全がさげばれています。この涸沼に水を供給している川は、涸沼前川と言って、水戸市内原地区を流れています。当然、この川が汚れると涸沼全体に影響します。排水口からアルコールや油を流しても、下水道処理施設できれいになると考えていませんか。ろ過を基本とした処理方法では能力に限界があります。絶対に雑水以外は流さないよう、徹底をお願いします。



今月の生物多様性情報

逆川を20年間観察し続けた人の話を聞く会を開きました



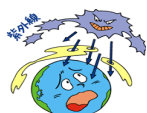
水戸市環境保全会議の生物多様性保護活動の一環として、千波湖に流れ込む逆川の水質を、20年間調査された方の発表会を計画し、6月20日開催しました。流域に住むたくさんの方々にご参加いただき、逆川を流れる水の大半が湧水であることや、想像以上にきれいな水が流れていることを確認しました。この地域の地形が、一旦地表にからしみ込んだ水が、湧水となって川に注がれるまで、数十年かかると聞き、自然の巧みな機能に心を打たれる思いがしました。黄門さまが作った笠原水道も、こうした状況を活かし、構築されたのではと、時代を経ても、守るべき大切なものだとは再認識しました。水戸に住んでいるとこうした豊かな水があたりまえのように思っている自分が、恥ずかしくなるようなお話しでした。

社長コメント ～ 涸沼ラムサール条約登録に思う ～



涸沼がラムサール条約に登録されたが、県民にこの条約の意味が伝わっていない。元々は鳥類を保護するため、生息域である湿地などの保全を確実にするためのもで、生産活動の影響を受けて絶滅するような種がないよう、生物多様性の観点から見守る必要がある。

今月の環境用語



「フロンガス」

フロンガスは、オゾン層を破壊することがわかり、既に使用も生産も禁止されています。そのかわりの製品として代替フロンができましたが、残念ながら、これらの製品も、オゾン層に影響があることがわかり、別なものを開発中ですが、実現していません。冷蔵庫やエアコンなど処分するとき、適切な方法が求められています。家庭でも廃棄のさいは気をつけてください。

今月の環境目標進捗状況

	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全体評価
電気使用量の削減	17,785kwh	17,588kwh	(達)	48,265kwh	46,789kwh	104%	↑
一般ごみの削減	66袋	67袋	×	198袋	198袋	100%	↑
エコカープを回収	934個	1,284個	(達)	2,506個	3,187個	127%	↑
美化活動の実行	50%	0%	×	50%	0%	0%	↓
生物多様性保護支援	10%	10%	(達)	20%	20%	100%	↑